

## 2024 年度事業計画

### 福岡未来創造プラットフォーム

1. 学生募集作業部会.....	1
1-1. 「学生募集力の強化に向けた調査・実証実験事業の展開」事業.....	1
(大学のまち福岡パンフレット)	
1-2. 「学生募集力の強化に向けた調査・実証実験事業の展開」事業.....	2
(進学相談会へのブース出展)	
1-3. 「大学生等を活用した広報体制の構築と広報活動の展開」事業.....	3
(高校生向け Web サイト DAiFuk.)	
2. 地域人材育成作業部会 .....	4
2-1. 「福岡未来創造プログラム」事業（取組 1：プログラム実施） .....	4
2-2. 「福岡未来創造プログラム」事業（取組 2：基盤形成） .....	5
3. 地元就職・定着作業部会.....	6
3-1. 地元就職・定着に資する事業の共同実施（取組 1） .....	6
3-2. 地域企業インターンシップ等の共同実施（取組 2） .....	7
3-3. 起業・創業人材の育成支援及び環境整備（取組 3-1） .....	8
3-4. 起業・創業人材の育成支援及び環境整備（取組 3-2） .....	9
4. 生涯学習作業部会.....	10
4-1. 生涯学習・リカレント教育及び小中高の教育支援の推進.....	10
4-2. 生涯学習環境の充実にに向けた調査・実証実験の展開と整備の推進 .....	11
5. 大学・自治体・産業界交流作業部会 .....	12
5-1. 「対話と交流の場づくりの推進」事業.....	12
5-2. 「共同研修事業の推進」事業.....	13
5-3. 「人事交流の促進」事業.....	14
5-4. 「資源の共有化や業務の共同化の検討及び実現」事業 .....	15
5-5. 「組織の垣根を越えた交流を促進する支援制度の運用」事業 .....	16

## 1. 学生募集作業部会

### 1-1. 「学生募集力の強化に向けた調査・実証実験事業の展開」事業（大学のまち福岡パンフレット）

#### 目的

学生募集の新しい方策や手法の開拓を目的に、福岡都市圏の大学の情報・魅力の効果的・効率的な発信や「大学のまち福岡」のブランド力の向上、新たな募集地域の開拓等に資する調査・実証実験事業を企画・実施し、その検証に取り組むとともに、その成果をエリア全体の学生募集力の強化に資するさらなる事業展開や仕組づくりに活用する。

#### 事業概要

各大学が主に高校訪問や校内進路ガイダンスにて学生募集活動を行う際に自大学以外の他のプラットフォーム参画大学等の案内も行うことを目的とし、福岡の特徴や加盟大学の学部学科（学問系統名）を記載したパンフレット（令和4年度作成「大学のまち福岡」）を再編集・印刷し、訪問先へ配布する。あわせて、高校に対し福岡都市圏の大学への希望者数や福岡都市圏の大学情報のニーズ調査を行い次年度以降の事業策定への一助とする。また実際の高校訪問以外に業者説明会への資料参加も行う。

#### 目標値

配布数：70校（九州・山口地区において各県8～10校程度）

アンケート回収数：700件

#### スケジュール

「大学のまち福岡」パンフレット配布

- ・4月～5月 パンフレットの内容再編集、印刷
- ・6月以降 高校訪問等でパンフレットを配布、アンケート実施

## 1-2. 「学生募集力の強化に向けた調査・実証実験事業の展開」事業（進学相談会へのブース出展）

### 目的

学生募集の新しい方策や手法の開拓を目的に、福岡都市圏の大学の情報・魅力の効果的・効率的な発信や「大学のまち福岡」のブランド力の向上、新たな募集地域の開拓等に資する調査・実証実験事業を企画・実施し、その検証に取り組むとともに、その成果をエリア全体の学生募集力の強化に資するさらなる事業展開や仕組づくりに活用する。

### 事業概要

九州各地で開催される進学相談会（株式会社栄美通信主催）に福岡未来創造プラットフォーム（福岡市）としてブースを出展し、福岡という都市の魅力を発信するとともに、福岡の大学へ進学する魅力を PR する。具体的には、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島 の 5 都市で開催される進学相談会に「福岡で学ぼう」というコンセプトのブースを出展し、福岡市の担当者が福岡市および福岡の大学を PR する。

### 目標値

ブース対応者数：150 名（1 会場 30 名を目標とする）

### スケジュール

- ・ 9 月 進学相談会へのブース出展  
【開催地区】長崎、熊本、鹿児島、大分、宮崎の 5 都市

### 1-3. 「大学生等を活用した広報体制の構築と広報活動の展開」事業（高校生向け Web サイト DAiFuk.）

#### 目的

プラットフォーム加盟大学の学生による「ふくおかの街や大学の特徴・魅力、合格体験記」を発信する企画を実施し、全国の高校生が魅力的に感じる情報を発信し、エリア全体の学生募集力の強化を図る。

#### 事業概要

高校生向け Web サイト「DAiFuk.」の内容充実のための企画検討・実施

- ・大学が実施するオープンキャンパスや学園祭、高校生向けイベントのほか、大学生がページに登場し、学生目線でふくおかの街や大学の特徴、魅力等を発信する企画（受験生応援情報、合格体験記、ふくおか×学生 Voice など）を実施する。

#### 目標値

- ・ WEB サイトアクセス数：18 万アクセス／年
- ・ 参加学生数：30 名以上／年

#### スケジュール

WEB サイト、SNS を随時、情報更新

- ・ オープンキャンパス
- ・ 学園祭
- ・ 高校生向けイベント
- ・ 受験生応援情報（合格体験記、入試説明会など）
- ・ ふくおか×学生 Voice など
- ・ SNS に学生団体等の投稿をリポスト

## 2. 地域人材育成作業部会

### 2-1. 「福岡未来創造プログラム」事業（取組1：プログラム実施）

#### 目的

プラットフォーム加盟大学の学生を対象に、「地域の未来を担う人材の育成」を目的としたプラットフォームオリジナルの共同教育プログラムを実施する。幅広い学問領域や社会課題をテーマにプラットフォームならではの学びを提供することにより、学生の成長の最大化を目指す。

#### 事業概要

・福岡未来創造プログラム・カリキュラム基本方針に基づき、「越境」・「共創」・「変容」を構成する9つの能力・要素の育成に資する多様な科目を実施する。

・中長期計画の第1サイクル（令和6年度延長）の最終年度を踏まえ、恒常的な課題であった医療系学生ニーズ（チーム医療、アウトプット実践、ボランティア等）に叶う科目を創出する。

#### 目標値

- ① 「福岡未来創造プログラム」実施数：11科目以上  
（うち1科目以上を医療系学生が参加できる対象科目とする）
- ② 「福岡未来創造プログラム」受講者数：330名以上

#### スケジュール

- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| ・4月～   | 企画（テーマ設定・講師派遣調整）        |
| ・6月以降  | 準備が整ったプログラムより広報及び受講学生募集 |
| ・7月以降  | 開講                      |
| ・9月～2月 | 振り返り                    |
| ・3月    | 次年度計画検討                 |

## 2-2. 「福岡未来創造プログラム」事業（取組2：基盤形成）

### 目的

福岡未来創造プログラム・カリキュラム基本方針を踏まえ、本プログラム制度の継続的な改善が不可欠である。福岡未来創造プログラム受講者の量的拡大と質向上を目指し、プログラム基盤の高度化とブランディングの向上を図る。

### 事業概要

- ・福岡未来創造プログラムを通じて単位認定科目を開発する。
- ・各加盟大学が実施している他大学との単位認定科目を調査のうえ、PF 加盟大学に開放できる仕組みやその是非を検討する。
- ・デジタル受講歴証明書に係る仕組み作りとして、科目運営の効率化を踏まえ、PF 共通 LMS（又はデジタルバッジ）を検討する。
- ・次期中長期計画を踏まえ、福岡未来創造プログラムの高度化を踏まえ、次年度計画案を策定する。

### 目標値

- ①単位認定科目の開発：2 科目
- ②各加盟大学が実施している「他大学との単位認定科目」の調査
- ③デジタル受講歴証明書に係る仕組み作り（共通 LMS 又はオープンバッジ等）
- ④次期中長期計画を踏まえた計画案の検討・策定

### スケジュール

- ・5月～7月 単位認定科目の開発（前年開講分の継続を含む）  
他大学との単位認定科目の調査  
上記調査からPF 加盟大学に開放可能な科目の検討  
PF 共通 LMS（又はデジタルバッジ）の検討
- ・7月～ PF 加盟大学に単位認定科目を周知
- ・7月～9月 PF 共通 LMS（又はデジタルバッジ）の導入・稼働（導入決定時）
- ・9月～2月 振り返り
- ・3月 次年度計画検討

### 3. 地元就職・定着作業部会

#### 3-1. 地元就職・定着に資する事業の共同実施（取組 1）

##### 目的

秋以降も就職活動を続ける学生等と人手不足に悩む企業を支援するため、学生等と企業の採用に直結したマッチングの場を創出

##### 事業概要

- オンラインで採用直結型合同会社説明会を実施
  - ・実施時期：10月～2月頃
  - ・対象者：企業・福岡都市圏内に事業所を有する企業（中小企業に限定しない。）  
求職者・令和7年3月大学等卒業予定者  
既卒者で未就職者、中途就職希望者または転職希望者
  - ・出展企業：定員 64 社（16 社／回×4 回を想定）
- ※企業と参画大学学生をはじめとした学生等へ説明会の広報を実施

##### 目標値

参加者延べ 1,280 名（20 名／社を想定）（参加者満足度 80%）  
出展企業出展率 100%（参加企業満足度 80%）

##### スケジュール

- ・4月～7月 企画検討（集客方法、広報方法）
- ・8月 実施事業者の選定
- ・9月 事業広報を開始
- ・10月～2月 実施（第1回～第4回）
- ・3月 振り返り

### 3-2. 地域企業インターンシップ等の共同実施（取組 2）

#### 目的

学生と企業が出会う場や、各大学の就職担当教職員と大学と接点を持ちたい優良・急成長・大手企業（福岡で働けること・インターンシップを案内できることが条件）を結び付ける場を提供することで、学生の選択肢や、就職担当教職員が学生に紹介できる企業を増やすことを目指す。

これにより、プラットフォームの目的である地元就職・定着について、希望する学生が一人でも多く地元就職・定着を実現できるようにする。

#### 事業概要

R5 年度に実施した「福岡まるごと業界研究」や「キャリアアドバイス座談会」の課題及び成果を踏まえ、引き続き同事業を実施する。

また、福岡に拠点を持つ優良・成長企業を集めた大学の就職担当教職員向け交流会（HR 交流会）を開催し、IT 企業・スタートアップ企業など大学との接点がなかなか無い企業と大学担当教職員を結び付け、大学と企業双方がメリットを感じる取り組みとする。

なお、企業は、福岡での勤務やインターンシップが可能な企業とする。

##### 【実施要領案】

- ①「福岡まるごと業界研究」（夏・秋・春／計3回）
- ②「キャリアアドバイス座談会」（夏・秋／計2回）
- ③「HR 交流会」（夏・秋／計2～3回）

※その他、「IT 特化型企业説明会」等に PF として共催を検討。

#### 目標値

- ①参加学生数：延べ 1000 人／参加者満足度：80%（アンケート）  
人生の選択肢が増えた学生の割合：90%（アンケート）
- ②参加学生数：延べ 40 人／参加者満足度：90%（アンケート）
- ③参加教職員数：1 回あたり 20 人／参加企業数：1 回あたり 20 社／  
次回も参加したい参加者・参加企業の割合：各 80%以上（アンケート）

#### スケジュール

- ・～4 月 実施案確定（前年度から実施案検討など準備）
- ・6 月 HR 交流会（夏）
- ・6～8 月 まるごと業界研究・キャリアアドバイス座談会（夏）
- ・9 月 HR 交流会（予備）
- ・11 月 HR 交流会（秋）
- ・11 月～12 月 まるごと業界研究・キャリアアドバイス座談会（秋）
- ・1 月～2 月 まるごと業界研究（春）
- ・3 月 振り返り、成果・課題分析、次年度検討



## 3-3. 起業・創業人材の育成支援及び環境整備（取組 3-1）

## 目的

福岡都市圏大学による大学横断型のアントレプレナーシップ教育共通プラットフォームを構築し、福岡都市圏のすべての学生に対しアントレプレナーシップ教育の門戸を開き、アントレプレナーシップマインドを持った人材の輩出、福岡への多様な人材の集積を目的とする。併せて、アントレプレナーシップ教育に携わる教員の連携を図ることで、福岡都市圏全体のアントレプレナーシップ教育の向上を目指す。

## 事業概要

福岡都市圏の大学がそれぞれのアントレプレナーシップ教育に関する講義を持ち寄り、福岡都市圏大学の学生が自由に講義を受講できる体制を構築。起業家育成プログラム事業と FSE 事業で連携し、双方の事業に学生の参加を促すことで、知識・実践によるアントレプレナーシップマインドを持った人材の輩出を行う。

## 目標値

受講者の中から起業家を輩出 10 名（取組 3 全体より）

## スケジュール

- ・ 随時                    FSE 実行委員会開催
- ・ 4 月～9 月            FSE 前期授業開講、広報活動
- ・ 10 月～2 月          FSE 後期授業開講、広報活動
- ・ 11 月～                次年度の開講科目の調整

※開講授業のスケジュールは、授業提供大学の日程による

※通年でアントレプレナーシップ教育に関する授業法/評価法などを研究する勉強会等を実施し、福岡におけるアントレプレナーシップ教育の平準化と質的向上、教員間の恒常的な経験交換の場の提供を目指す

### 3-4. 起業・創業人材の育成支援及び環境整備（取組 3-2）

#### 目的

福岡未来創造プラットフォーム加盟大学を中心に、起業に関心を持つ学生を対象とした起業家育成プログラムを実施し、大学における起業文化の裾野の拡大を行うとともに、起業家の輩出を目指す。

#### 事業概要

アントレプレナーシップの向上や起業家輩出につながる実験的プログラムを企画・実施し、その成果をもとに学生の起業・創業を支援する仕組みづくりや環境整備を進める。

なお、必要に応じて、参加学生をスタートアップカフェや福岡市が実施する起業プログラムにつなぎ、活動が次のステップに移行できるよう支援する。

#### 目標値

起業家の輩出数 3 名（取組 3 全体で 10 名輩出）

#### スケジュール

- ・キックオフ、事前セミナー
- ・交流会、チーム編成
- ・プランブラッシュアップ、メンタリング
- ・プラン発表会、表彰

※実施内容、時期、期間は令和 5 年度事業を検証したうえで、決定する。

## 4. 生涯学習作業部会

### 4-1. 生涯学習・リカレント教育及び小中高の教育支援の推進

#### 目的

社会人、子ども、女性、高齢者、外国人及び障がい者を初めとした、地域の多様な人々の社会での活躍や貢献を促す質の高い生涯学習、リカレント教育プログラムや小・中・高等学校の教育支援プログラムを大学・自治体・産業界で新規開発・実施する。

#### 事業概要

生涯学習・リカレント教育プログラム及び小・中・高等学校の教育支援プログラムを大学・自治体・産業界が共同で新規開発・継続実施する。

##### 【継続事業】(予定)

◇ふくおかキャリア共創ラボ等々

##### 【新規事業】

◇大学公開講座の合同開催・告知

◇福岡都市圏にまだない新しい生涯学習事業を立ち上げる

#### 目標値

事業実施数：5事業

各事業への参加者総数：200名以上

#### スケジュール

- ・4月～ 事業計画策定
- ・6月～ 作業部会にて承認
- ・7月～ 各事業実施
- ・2月～ 事業報告書作成

※詳細なスケジュールは、実施事業ごとに作成

## 4-2. 生涯学習環境の充実に向けた調査・実証実験の展開と整備の推進

### 目的

福岡都市圏の生涯学習環境の充実に向けて、ニーズや人材の把握、効果的な生涯学習情報の発信等に関する調査・実証実験事業に取り組むとともに、その成果に基づき環境整備を推進する。

### 事業概要

福岡都市圏の生涯学習環境の充実に向けて、ニーズや人材の把握、効果的な生涯学習情報の発信等に関する調査・実証実験事業に取り組む。

#### 【継続事業】

- ◇リカレントカフェ
- ◇アラカンフェスタ
- ◇各種ニーズヒアリング

### 目標値

- ①事業実施数：2事業
- ②アンケート実施件数：300名以上
- ③ヒアリング件数：3件以上
- ④情報発信に係る仕組の整備

### スケジュール

- ・4月～ 事業計画策定
- ・6月～ 作業部会にて承認
- ・7月～ 各事業実施（広報等を含む）
- ・2月～ 事業報告書作成

※詳細なスケジュールは、実施事業ごとに作成

## 5. 大学・自治体・産業界交流作業部会

### 5-1. 「対話と交流の場づくりの推進」事業

#### 目的

大学・自治体・産業界等の関係者による対話と交流の場を継続的に開催することで、組織の垣根を越えた顔の見える関係性づくりを進めるとともに、福岡の未来創造につながる多様な事業や仕組等の提案・創出につなげる。

#### 事業概要

大学・自治体・産業界の対話と交流の場として、「福岡まなびラボ（以下、まなラボ）」を定期開催する（月 1 回程度）。福岡の未来創造に関わるテーマについて産官学で対話や交流、学習会等を進めるとともに、そこで生まれたアイデアや構想等を代表者会議・運営委員会・作業部会等にフィードバックしたり、まなラボメンバー等で実際に試行したりすることで、新たな事業や仕組等の創出につなげていく。

特に、まなラボではプラットフォームの最重要のミッションである大学・自治体・産業界の交流促進及び先進的な教育・人材育成プログラムの開発・提案に注力するとともに、プラットフォーム全体の Think&Do タンクとして各作業部会等から持ち込まれた課題や相談に対しても積極的に対応していく。

#### 目標値

対話と交流の場への参加者数：120 名

対話と交流に基づく新規企画・事業等の提案件数：3 件

#### スケジュール

##### 【福岡まなびラボ】

・ 4 月～3 月 福岡まなびラボの開催（月 1 回程度）

・ 10 月、3 月 まなラボ企画の対話と交流イベント開催

※対話と交流を通して生まれたアイデア・構想等は適宜、代表者会議・運営委員会・作業部会等へフィードバック、あるいは、まなラボメンバー等で試行を進める。

## 5-2. 「共同研修事業の推進」事業

### 目的

プラットフォーム加盟機関の人材の資質向上及び交流の促進を目的に、プラットフォーム加盟機関の共同による研修事業を推進する。

### 事業概要

プラットフォーム加盟機関の発展につながる魅力的かつ質の高い研修プログラムを共同で開発・実施する。特に、プラットフォームの強みを生かして、複数機関で実施することで大きな効果が期待できる研修を企画・実施する（個別機関で実施するより複数機関で実施したほうが知的基盤の醸成や実践面において相乗効果が期待できるもの、個別機関だけでは実施が難しいもの、産業界等の最先端のノウハウや知見を取り入れたもの等）。加えて、プラットフォーム内の各機関で実施されている既存の研修プログラムを他機関の職員等も受講できる仕組づくりを進める。

### 目標値

研修の共同実施件数：5 件（プラットフォーム主催 3 件、既存開放 2 件）

研修への参加者数：110 名（プラットフォーム主催 90 名、既存開放 20 名）

### スケジュール

- ・ 4 月～5 月      プラットフォーム加盟機関へ開放可能な研修の調査・協力依頼
- ・ 4 月～6 月      共同研修の企画・準備・広報
- ・ 7 月              第 1 回目の共同研修の実施
- ・ 8 月～10 月      共同研修の企画・準備・広報
- ・ 11 月             第 2 回目の共同研修の実施
- ・ 12 月～2 月      共同研修の企画・準備・広報
- ・ 3 月              第 3 回目の共同研修の実施

### 5-3. 「人事交流の促進」事業

#### 目的

プラットフォームに加盟する大学・自治体・産業界等の中で人事交流の仕組みの整備を進めることで、プラットフォーム内の人的交流の促進及び人材の育成につなげていく。

#### 事業概要

作業部会内に設置したプロジェクトチーム（資源共有チーム）と本作業部会幹事校事務局との連携のもと、プラットフォーム加盟機関間の人事交流の実現・促進するための制度・仕組みを構築し、運用を開始する。加えて、人事交流の啓発及び機運醸成を目的としたプラットフォーム加盟機関間の交流イベントを企画・実施する。

#### 目標値

人事交流の実績件数：2 件 ※発令の有無を問わない。

#### スケジュール

- ・ 4～5 月 前年度実施予定の「人事交流に関する希望調査」の集計・共有  
※各機関がどのような人事交流を希望しているか(短期～長期含めてどのような受入・送出を望んでいるもしくは対応可能か)の見える化に取り組むことで人事交流の促進につなげる
- ・ 4～3 月 プラットフォーム加盟機関間での短期交流の企画・実施  
※年 2 回程度
- ・ 1～3 月 プラットフォーム全加盟機関を対象とした「人事交流に関する希望調査」の実施  
※前年度の調査結果をもとに情報更新を依頼

#### 5-4. 「資源の共有化や業務の共同化の検討及び実現」事業

##### 目的

プラットフォーム加盟機関の経営力の強化や財政負担の軽減を目的に、知的・人的・物的資源の共有化や業務の共同化の様々な可能性（備品・設備等の共同購入、施設・設備等の共同利用、業務システムの共同開発、クロスアポイントメント制度の実施、事務の共同運営等）について調査・検討し、それらを実現するための体制や制度、仕組みづくりを推進する。

##### 事業概要

作業部会内に設置したプロジェクトチーム（資源共有チーム）と本作業部会幹事校事務局の連携のもと、プラットフォーム加盟機関間における資源の共有化・業務の共同化（共同調達、施設・設備の共同利用等）の実施に向けて、体制や制度の検討・整備、各種調整、現状・ニーズの調査等に取り組む。

##### 目標値

資源共有化・業務共同化の実現件数：2 件

##### スケジュール

###### 【施設・設備の共同利用】

- ・ 4 月 前年度実施の「施設・設備の共同利用に関する調査」の結果の集計完了
- ・ 5 月 共同利用施設・設備一覧の情報公開
- ・ 10～12 月 次年度に向けて「施設・設備の共同利用に関する調査」の準備
- ・ 1～3 月 「施設・設備の共同利用に関する調査」の実施・取りまとめ

###### 【共同調達】

- ・ 4～3 月 共同調達に関する希望調査の実施
- ⇒スケールメリットによるコスト削減が期待できる場合は、共同調達の実施に向けて調整を進める



## 5-5. 「組織の垣根を越えた交流を促進する支援制度の運用」事業

### 目的

プラットフォーム加盟機関の間で行われる取組（課題解決型プロジェクト・学習会・各種イベント等）を「福岡よか未来プロジェクト」として支援することにより、組織の垣根を越えた交流を促進する。

### 事業概要

組織の垣根を越えた交流プロジェクトについて、プラットフォームが活動資金を助成し、広報支援を行う。なお、令和 5 年度まで、本事業は、活動資金助成および広報支援を行う「助成事業」と、プラットフォーム事業として認定し広報面から支援する「認定事業」の 2 種類で募集を行っていたが、運用開始から 3 年が経過し、「認定事業」については申請者にとって需要が低いとの判断を行った。したがって、令和 6 年度以降、本作業部会の事業ではなく、プラットフォームとして後援申請を受け付け、プラットフォームが公認した事業として様々な広報支援を行う形式に移行することを検討および提案していく。

なお、本事業の助成を受ける団体に対しては、成果報告を課す。

### 目標値

支援件数→5 件

支援・認定制度に基づく交流者数→延べ 250 名

### スケジュール

- ・5月 募集開始
- ・6月 書類審査および面接審査（オンライン）
- ・7月 採否結果通知／支援開始 ～ 3月：支援終了

※各事業終了後、1 カ月以内に選定団体から成果報告。

※運用と並行して本事業の検証を行う。